

## 第7回 学校づくり運営部会 報告書

日時 平成30年1月10日(水)19:00~21:40

会場 守門公民館 3階 多目的ホール

所属・役職	氏名	出欠	所属・役職	氏名	出欠
守門地区区長会	大塚 明	○	入中保護者	星 朗	欠
入広瀬コミ協	栢沢 一彦	○	守中保護者	浅井 景介	○
須原小PTA	大塚 耕太	○	入中 校長	佐藤 栄策	○
入小6学年委員長	佐藤 直幸	○	守中 校長	山岸 力	○
入小保護者	穴沢 梢	欠	事務局	早川 政宏	○
須小5学年委員長	浅井 誠哉	○	事務局	須佐 光行	○
須小4学年委員長	小島 綾子	欠			

第7回学校づくり運営部会では、制服・体操着と部活動にかかるアンケート結果を基に今後の進め方等について検討を行いました。結果については、以下のとおりです。

### 1 制服・体操着等の選考に関すること

#### ●制服の基本仕様については次のとおりとする。

女子 ブレザー（下衣チェック柄）

男子 ブレザー（下衣の柄については指定せず、メーカーにお任せとする。）

男女とも紺色を基調とする。

#### ●理由

##### ◆女子用制服について

- ①アンケート結果を見るとセーラー服が最上位だが、ブレザー3タイプを合計すると過半数を超え、全体としてはブレザーを希望する声はやや多い状況であること。
- ②実際に女子用制服を購入することとなる“女子・男女両方いる家庭”の集計結果を見ても、ブレザー3タイプの合計がセーラー服を上回るとともにブレザー（下チェック柄）がセーラー服とともに最多となっていること。
- ③こうしたことから女子用はブレザータイプとし、ブレザーの中でも希望者が最も多かった下チェック柄を選択することとした。

##### ◆男子用制服について

- ①女子用をブレザー（下チェック柄）とする方向であり、男女のバランス・調和といった点に配慮し、男子用についてもブレザータイプを選択することとした。
- ②価格面でも現在採用している詰襟学生服とブレザー（広神中の例）を比較すると、ほとんど同額であり、ブレザーを採用する上で保護者の負担に大きな差はない。
- ③下衣について、小出高校や広神中学校、八海中学校など近隣の事例では、女子がチェック柄であっても男子は無地を採用している例も多いことから、下衣の柄は特に指定せず、メーカーのデザインセンスにお任せすることとした。

◆基調となる色について

- ①男女ともアンケート最上位は紺色であることから、統一して紺色を基調とすることとした。

●制服選考要項（案）について

検討の結果、以下の点について加除修正を行うこととしました。

◆Ⅰ 目的と選考方法について

- ・メーカープレゼンのタイミングは、展示会の際に行うこととした。審査会でのプレゼンは実施せず書類選考のみとする。

◆Ⅱ 審査会について

- ・提案を依頼する制服サンプルは次のとおりとする。夏服についても生地品質チェックのためサンプルの提出を求めることとした。

区分	型式	色	提案希望数	
①	男子冬服	ブレザータイプ（下衣の指定無し）	紺色を基調とする	1点
②	男子夏服	下衣のみ（冬服と同色・同柄）	—	1点
③	女子冬服	ブレザータイプ（下衣チェック柄）	紺色を基調とする	1点
④	女子夏服	下衣のみ（冬服と同色・同柄）	—	1点

- ・提案書の内容について、生産・販売体制の説明内容に「冬服上・下衣と夏服下衣について、男子用、女子用それぞれの見積価格を記載してください。また、参考までに内側に着用する白ワイシャツ、ネクタイ・リボン等の参考見積も併せて記述願います。」を追加する。
- ・提案書のページ数は10ページ以内とする。
- ・制服仕様の機能性に「繊維アレルギーにも配慮すること」を追加
- ・制服仕様のデザインに「内側に着用する白ワイシャツに合うデザインとする」を追加
- ・制服仕様のデザインのうち「女子用制服はスラックスの選択もできること」に「サンプルの提示不要。ただし、提案書に女子用スラックスの画像・イメージ図、機能性・デザインの説明を追加してください。」を追加。
- ・制服仕様の価格は「参考小売価格（税別）は、男女とも冬服上・下衣と夏服下衣の合計で37,000円※以内とする。」に変更。 ※税込で約4万円を上限

◆Ⅲ 展示会について

- ・第1会場は入広瀬中学校の特別教室、第2会場は守門公民館会議室を借用する。
- ・展示期間は夏休みとし、第1会場は水～土、第2会場は土～火までとする。
- ・メーカープレゼンは、第1会場では最終日の土曜午後に実施。その日の夕方に第2会場へ移動し、第2会場は初日の土曜夜間にプレゼンを行う。
- ・メーカープレゼンは、ブース方式とし、見学に来た保護者に対して随時説明する型式で行う。
- ・投票用紙については、夏休み前に保護者へ配布し、夏休み後に回収する。
- ・投票は、男女セットで希望するメーカーを選択してもらう方式とする。

- ・投票は、小学校の1～6年生及び中学校の1～2年生の保護者に投票してもらうものとし、児童・生徒1人につき1票とする。（子どもが3人いれば3票）

◆IV 採用サンプル決定後について

- ・今後の生徒数の見込みの表を追加する。

◆その他

- ・提案依頼先のメーカーは県内に営業拠点を有する3社とする。
- ・正式な提案依頼（RFP）の前に、情報提供依頼（RFI）を実施し、要項案の妥当性について各メーカーに照会する。

## 2 部活動の設置に関すること

アンケートの結果を参考に次のとおりとすることとした。

●統合後も継続する4種目の絞り込み

陸上・スキー部、吹奏楽部、卓球部（男女）の3種目は継続する方向。

残りの1種目については継続審議とする。

●理由

◆陸上・スキー部

- ・アンケート結果から入部希望者が最も多かった。
- ・個人種目であり、団体種目と異なり部員の増減に関係なく大会等への出場が可能。
- ・基本的に夏は陸上、冬はスキーで活動する方向だが、陸上のみでスキーはやらないという子も受け入れる方針

◆吹奏楽部

- ・アンケートの結果から入部希望者が比較的多かった。
- ・男女の区別がない。
- ・運動を苦手とする子もいることから、文化系クラブを1種目は残したい。

◆卓球部

- ・アンケートの結果から入部希望者が比較的多かった。
- ・入部希望者のうち女子が1人しかいないが、練習は男女共同で可能（男女で顧問を分ける必要がない）
- ・大会は男女別会場で開催されているが、正副2名の顧問制をとることで引率に問題は生じない。

◆残る1種目について

- ・柔道部は、入部希望者が少なく廃止の方向。柔道を希望する子については社会体育クラブでの活動を許可する方針。
- ・バスケット部は、小5,6年生の入部希望者が合計4人と少なく、3年引退後の練習に支障が生じる可能性がある。練習には少なくとも10人以上は必要だが、それだけの人数が集まるかどうかはかなり厳しい見通し。
- ・テニス部は、小5の入部希望者が6人と多いが、今後女子生徒が大きく減少していく見通しであり、慎重な判断が要求される。
- ・バレー部は、現中1世代が5人しかおらず大会出場のメンバーが不足している。下級生の入部がなければ3年時の大会出場も困難。

- ・剣道部は、小5の入部希望者がゼロだが、小6女子の入部希望者のうち2名が須原小学校の児童という状況。練習場所等が確保できるか課題もある。

### 3 次回会議について

平成30年1月29日（月）19:00～ 守門公民館多目的ホール